

## 教育史の構成（案）について

平成 29 年度から執筆を開始するにあたり、港区教育史の大枠について、下記のとおりの内容とします。

### 1 構成の基本的な考え方について

- (1) 構成は通史編、分野別資料編、くらしと教育編とし、いずれも基本方針を踏まえて編さんに当たります。

通史編は、第 6 章までは既刊の教育史を最大限生かし、新規の執筆ではなく検証を行うものとします。第 7 章以降は、新規の執筆を行います。

分野別資料編は、現行の教育史と同様に資料を掲載するものとし、収集した資料を選別し、掲載を行います。

くらしと教育編は、今後通史編・資料編を編さんしていく中でテーマの絞り込みを行っていきます。

- (2) 巻・章等の名称・その他の詳細については執筆者を中心とした執筆者会議の中で今後検討することとします。執筆開始後も、巻・章等の名称はもとより、章等に属する項目等については、執筆の進展に併せ適宜確認・協議の上、必要に応じて変更可能とすることを基本として編さんを進めます。

### 2 今後の編集作業について

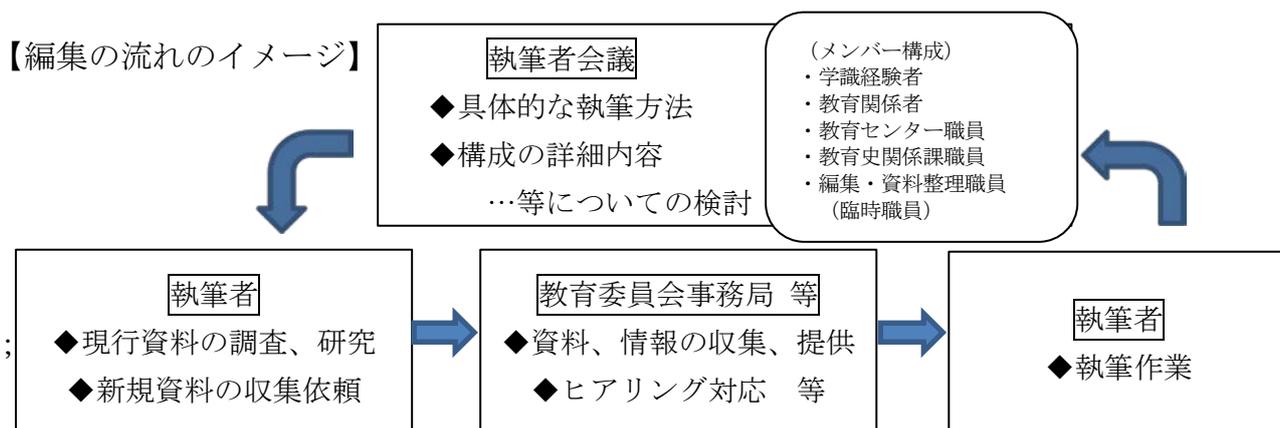
- (1) 教育センターに教育史編集室を設置し、執筆者を中心とした執筆者会議の中で編集・執筆の方法について検討します。

港区政の変遷や各章に属する項目など執筆の前段階となる内容等を検討し、執筆者間の調整を行います。

- (2) 現在の資料の検証を行うとともに、新たに必要となる資料について、教育委員会事務局、学校を中心に教育史編さん委員や青少年委員等教育関係者の協力を得て、資料や情報の収集を行います。

また、教育史の編さん対象となる各分野ごとに、大きな出来事となる項目出しや資料・情報提供、執筆者からのヒアリング対応等により編さんを支援します。

#### 【編集の流れのイメージ】



## 港区教育史 構成案

## 【通史編】

章	項目	執筆者	監修者	全体監修
序章	港区の風土と教育のあゆみ	-	学識経験者	学識経験者
第1章	近代教育の発足 (明治前期)	-	学識経験者	
第2章	近代教育の発展 (明治後期)	-	学識経験者	
第3章	近代教育の拡充 (大正期)	-	学識経験者	
第4章	戦時体制下の教育 (昭和前期)	-	学識経験者	
第5章	戦後教育の展開	-	学識経験者	
第6章	教育の質的向上 (経済成長期)	-	学識経験者	
第7章	教育の再構築期 (～バブル期)	調整中	学識経験者	
第8章	港区の教育の現況 (～現代)	調整中	学識経験者	

## 【分野別資料編】

章	項目	資料・情報提供	監修者	全体監修
第1章	教育行政	編さん委員、教育委員会事務局、 各学校等	学識経験者	学識経験者
第2章	初等教育			
第3章	中等教育			
第4章	幼児教育			
第5章	特別支援教育			
第6章	教職員の状況			
第7章	生涯学習			
第8章	スポーツ			
第9章	国立・都立・私立学校			

## 【くらしと教育編】

	くらしと教育	学識経験者	学識経験者	
--	--------	-------	-------	--